



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 那須電機鉄工株式会社

コード番号 5922 URL <http://www.nasudenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 那須 幹生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 杉村 嘉穂

TEL 03-3351-6131

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,126	△3.9	△65	—	△94	—	△289	—
25年3月期第2四半期	9,493	10.6	△103	—	△111	—	△133	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △102百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △215百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△24.82	—
25年3月期第2四半期	△11.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	33,197	13,304	39.6
25年3月期	32,151	13,538	41.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 13,133百万円 25年3月期 13,349百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	△2.3	20	△94.0	△70	—	△310	—	△26.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	12,000,000 株	25年3月期	12,000,000 株
26年3月期2Q	329,189 株	25年3月期	329,189 株
26年3月期2Q	11,670,811 株	25年3月期2Q	11,672,482 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策などにより、円高の是正や株価上昇など、一部に明るさが見られるものの、实体经济の確実な回復までには至っておらず、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連業界におきましては、電力関連では、大震災以降、電力各社は原子力発電所の長期停止の影響により経営が悪化しており、コスト削減の必要性から設備投資の抑制と修繕費の削減が継続され、建築鉄骨関連でも、都市部での再開発事業などを中心に需要が回復傾向にあるものの、採算ラインを下回る厳しい受注価格が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、業量の確保に努めるとともに、設備効率化の推進や経費の削減により、採算性の維持にも注力しましたが、売上高は91億26百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業損失65百万円（前年同四半期は営業損失1億3百万円）、経常損失94百万円（前年同四半期は経常損失1億11百万円）、四半期純損失2億89百万円（前年同四半期は四半期純損失1億33百万円）となりました。

## ①セグメントの業績

## (電力・通信関連事業)

鉄塔関係においては、電力各社は引き続き設備投資を抑制しており、移動体通信各社でもプラチナバンド対応への投資はあったものの、売上高は減少しました。金物関係では、配電用金物は需要が低迷するなか一定量は確保でき、通信用金物でも、データ通信高速化に伴う通信基地局への投資は一巡傾向にあるものの、堅調に推移し、売上高、利益とも増加しました。

その結果、売上高は50億30百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益は4億89百万円（前年同四半期比49.4%増）となりました。

## (建築・道路関連事業)

道路施設関係においては、トンネル天井板撤去工事や料金所ブースの新設、その他特殊構造物等を積極的に受注し、売上高の確保に努めたものの、建築鉄骨関係では、設計工程の遅れなどにより工事の完工が下半期にずれ込んだことから、売上高、利益とも大幅に減少しました。

その結果、売上高は28億62百万円（前年同四半期比13.6%減）、セグメント損失は3億27百万円（前年同四半期はセグメント損失87百万円）となりました。

## (碍子・樹脂関連事業)

樹脂関係では、地中線関連製品や碍子カバーが引き続き堅調に推移したものの、碍子関係においては、一部リユースの継続により売上高は低迷しており、生産面においても受注品の割合が高いこともあってコスト高となり利益も減少しました。

その結果、売上高は12億32百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益25百万円（前年同四半期比11.9%減）となりました。

## ②不正行為による損益への影響

この度、当社の元従業員が平成18年10月から平成25年8月にわたり、消耗工器具備品の購入に関して領収書を偽造し、合計2億3百万円にのぼる会社金員を騙取していたことが判明いたしました。

当該不正行為による被害金額については、既に過年度決算等において費用計上されています。これらの費用計上を修正するとともに求償債権を計上しても、現時点での回収可能性を考慮いたしますと、別途、同額の損失を認識せざるを得ない状況であるため、過年度決算等に与える影響は実質的に軽微と判断し、過年度決算等の訂正は行わないこととしました。なお、当第2四半期における被害金額については、貸倒損失として営業外費用に3百万円を計上しております。また、過年度の法人税ならびに消費税については修正申告を行い、当第2四半期において、消費税額4百万円を営業外費用に計上するとともに、過年度法人税等63百万円を計上しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ10億46百万円増加し、331億97百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億4百万円減少し、158億14百万円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金が16億40百万円減少しましたが、仕掛品が17億72百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ11億51百万円増加し、173億83百万円となりました。主な要因は建設仮勘定（「その他（純額）」に含まれている）が9億31百万円増加したことによるものです。

### (負債)

負債は前連結会計年度末に比べ12億80百万円増加し、198億92百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ14億60百万円増加し、110億39百万円となりました。主な要因は前受金（「その他」に含まれている）が9億29百万円と、1年以内償還予定の社債が3億円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少し、88億53百万円となりました。主な要因は社債が3億38百万円減少したことによるものです。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億33百万円減少し、133億4百万円となりました。自己資本は2億16百万円減少し、自己資本比率は総資産の増加により1.9%減少し39.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での連結業績予想につきましては、平成25年10月30日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,578,440	4,216,976
受取手形及び売掛金	6,230,640	4,590,568
電子記録債権	24,160	24,230
製品	1,187,686	1,163,125
仕掛品	3,118,178	4,890,396
原材料及び貯蔵品	473,486	560,370
その他	313,328	380,587
貸倒引当金	△6,628	△11,653
流動資産合計	15,919,292	15,814,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,324,582	2,258,250
機械及び装置（純額）	853,563	900,862
土地	10,450,531	10,450,531
その他（純額）	219,875	1,172,042
有形固定資産合計	13,848,552	14,781,686
無形固定資産		
投資その他の資産	204,566	246,898
投資有価証券	1,351,770	1,639,117
その他	866,096	753,940
貸倒引当金	△39,048	△38,496
投資その他の資産合計	2,178,818	2,354,561
固定資産合計	16,231,936	17,383,147
資産合計	32,151,229	33,197,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,881,197	4,062,403
電子記録債務	1,655,621	1,411,836
短期借入金	1,336,000	1,460,000
1年内返済予定の長期借入金	424,260	426,647
1年内償還予定の社債	926,000	1,226,000
未払法人税等	41,046	197,777
賞与引当金	232,523	203,777
役員賞与引当金	31,250	—
その他	1,050,971	2,050,807
流動負債合計	9,578,869	11,039,250
固定負債		
社債	968,000	630,000
長期借入金	2,997,417	3,107,900
再評価に係る繰延税金負債	2,125,609	2,125,609
退職給付引当金	2,411,897	2,376,471
役員退職慰労引当金	181,784	184,631
その他	348,943	428,931
固定負債合計	9,033,651	8,853,543
負債合計	18,612,521	19,892,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	30,708	30,708
利益剰余金	8,672,797	8,266,384
自己株式	△75,895	△75,895
株主資本合計	9,227,611	8,821,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	277,017	467,202
土地再評価差額金	3,845,203	3,845,203
その他の包括利益累計額合計	4,122,220	4,312,405
少数株主持分	188,876	171,352
純資産合計	13,538,707	13,304,955
負債純資産合計	32,151,229	33,197,749



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,493,160	9,126,311
売上原価	8,359,845	8,070,131
売上総利益	1,133,315	1,056,180
販売費及び一般管理費	1,236,996	1,121,527
営業損失(△)	△103,681	△65,346
営業外収益		
受取利息	708	1,328
受取配当金	19,436	20,282
受取賃貸料	61,496	60,712
固定資産売却益	31,107	—
その他	14,378	30,660
営業外収益合計	127,126	112,984
営業外費用		
支払利息	46,600	46,567
賃貸費用	29,808	29,256
借入手数料	11,484	36,742
その他	47,350	29,996
営業外費用合計	135,243	142,563
経常損失(△)	△111,797	△94,926
特別損失		
投資有価証券評価損	47,098	—
特別損失合計	47,098	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△158,896	△94,926
法人税、住民税及び事業税	6,104	129,809
法人税等調整額	△27,406	4,720
過年度法人税等	—	63,722
法人税等合計	△21,302	198,251
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△137,594	△293,177
少数株主損失(△)	△4,188	△3,472
四半期純損失(△)	△133,405	△289,705

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△137,594	△293,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,741	191,134
その他の包括利益合計	△77,741	191,134
四半期包括利益	△215,335	△102,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211,405	△99,520
少数株主に係る四半期包括利益	△3,929	△2,523

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。